



東北電友会会報

85号

令和元年
8月発行



シリーズ よみがえるあのころ
～電話がみえる心の風景～

「尾瀬の夏山公衆電話」

写真提供／電友会 福島支部

目次

ごあいさつ

NTT 東日本 宮城事業部 福島支店長 1

支部長メッセージ 福島支部長 2

NTT グループ東北だより 3

震災コーナー 4

賛助会員企業様コーナー 6

東北地方本部だより 9

各地区電友会だより 12

会員リレーコーナー 69

会友コーナー 文芸・随想 74

でんでんみちのく川柳コーナー 81

NTT 東日本から退職者の皆さまへ 82

編集後記 83

ごあいさつ

東日本電信電話株式会社
宮城事業部 福島支店長

山 貫 昭 子



東北電友会の皆様には、日頃からNTT東日本グループの事業に対し、格別のご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

7月1日、NTT東日本は発足20周年を迎えました。この20年の間にICT技術も市場環境も大きく変化し、会社の主事業も電話から光へと大きくシフトしてきましたが、NTT東日本グループの昨年度決算で7期連続の増益となるなど、着実に成果をあげながら節目の年を迎えることができました。これも、長年にわたる諸先輩のご尽力の積み重ねとご支援あってこそとあらためて感謝申し上げます。

時代は「平成」から「令和」へと変わり、NTT東日本も新しい時代にふさわしい会社へとさらにステップアップしてまいります。2015年以降「変革の三本柱」を掲げ各種施策を進めてきましたが、先般、更なる成長・増収転換に向けて「変革の三本柱2.0」①情報通信事業のオーガニックな成長、②地域の活性化への貢献、③デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進を策定し、取り組みを進めています。

柱のひとつである「地域の活性化への貢献」では、人手不足を始めとする地域の自治体・企業が抱える課題を拾い上げ、IoT、RPA、AIなどのICTはもちろん、NTTグループやパートナー企業が持つスキルやアセットを最大限活用して解決を目指します。東北でも、農業分野では桃・しいたけなど様々な作物の栽培でIoT活用が進んでいるほか、

6月には郡山の鯉養殖場でIoTセンサー・NWカメラを活用した技術伝承・稼動削減の取り組みを開始しました。また、3月に東京と仙台の会場をNWでつなぎeSPORTSイベントに参画しましたが、複数の自治体からeSPORTSによる街おこしやスマートシティ推進の相談などもいただいています。今後も、お客さまの声に耳を傾け、お客さまニーズにあったソリューションを新たなビジネスの種として生み育てていきたいと思っています。

そして、いよいよ、来年は東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されます。3月26日に福島県のJビレッジからスタートする聖火リレーを皮切りに、開会後は野球、ソフトボール競技が福島で、また、サッカー競技も宮城で行われるなど、東北は世界から注目されることとなります。大震災からの復興はまだ道半ばですが、世界に東北の現状を発信する大きなチャンスです。NTT東北グループとしても、オリパラをおおいに盛り上げながら地域の魅力をアピールし、地域活性化に貢献したいと思っております。そのためにも、東北電友会の皆様のお力添えが是非とも必要となりますので、引き続きご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、東北電友会の益々のご発展、並びに皆様のご健康・ご多幸を祈念し、ご挨拶いたします。

◎支部長メッセージ



福島支部長

齊藤 政夫

前回、会報79号（平成28年8月発行）で東日本大震災及び福島第一原発事故から5年が経過した福島県内の特に原発事故関連の復興の進捗状況等について、他県の少しでも多くの皆さんへの情報共有として、記述させて頂きました。

その後あつと云う間に3年が過ぎましたが事故の原因は天災か人災かについて、現在も法廷で係争されておりますが、あの原子炉の水素爆発事故による被害の悲惨さを風化させないために、あえて再度前回記述した項目の復旧、復興の現状について述べさせて頂きます。

①原子炉の廃炉作業は、未だに直接建屋内に入り作業が出来ないことから、現状はロボットアームの先端にカメラを装備し、溶融して原子炉から落下した核燃料棒の塊と思われる物体を撮影して、接触出来るまでに漕ぎ着けましたが、今後は、この溶融している物体の原子炉からの搬出方法、搬出後の最終処分場及び処分方法の決定等、まだまだ難題が

山積しているため、廃炉までには今後30年、40年は掛かると想定されております。

②放射能の除染作業は帰還困難区域を除いて、居住地、道路、及び農耕地等は殆ど完了しているが、除染が完了して、避難指示が解除された区域に居住していた住民の帰還率は避難した地域に永住を希望している住民も多く、9市町村中7市町村が、50%以下で、特に3町村の帰還率は20%以下と低く、県内及び県外への避難者数は自主避難者も含めて、未だに、福島県全体で4万人超となっている状況にあります。

③除染作業で発生した放射性汚染物を搬入するための中間貯蔵施設の整備状況については、2400人弱の地権者との交渉が難航して、契約完了率は現在約70%に留まり、貯蔵施設の整備は計画通り完了出来ない状況にあります。

④中間貯蔵施設の整備が遅れていることから、県内全域から集められた除染廃棄物は県内各市町村の仮置き場に一時保管されておりその仮置き場の箇所数は、800箇所弱まで減少したものの、各家庭の庭等に現場保管されている箇所は、未だに約1万箇所を超えております。

東日本大震災により、福島県と同じく甚大

な被害を被った岩手、宮城両県の復旧、復興の進捗状況は、マスコミ等の報道によると、防潮堤の建設、居住地のかさ上げ、高台等への移転、及び商業、漁業の再開、更に三陸鉄道の開通等、目に見える形で復興が進んでおり、大変喜ばしい事と思っております。

当福島県の復旧、復興は最終的に原発敷地が整備されて、新元号の「令和」にちなんで敷地に梅の花の咲く時と考えているが、その時が来るのは、まだまだ先の長い話になるのであるうと感じております

さて、次は話題を変えまして、同じ長い話でも長生きの話に移りますが、最近「人生100年時代」と云う言葉を時々見聞きしますが、これは政府が将来到来するであろう人生100年時代を見据えて、「人生100年時代構想会議」を設けて対応策の検討に入ったそうですが、厚労省のデータによりますと日本人の平均寿命は、女性が約87才で男性が約81才と、年々寿命が延びており、現状で推移すると、2065年には国民の約2.6人に一人が65才以上、3.9人に一人が75才以上となるそうです。

問題は、健康寿命ですが、平均寿命と比較すると、女性は約12才、男性は約9才の乖離があり、この乖離を少しでも少なくすること

が今後最も重要と考えますが、結果的に毎日の生活に於いて、快食・快眠・快便の状態になっている事がベストですが、そのためには日常の①健康への意識、②適度な食事・運動、③生活・社会活動等について、手始めに、自分の現状を一度チェックしてみましょう。ここから、健康寿命を延ばす取組みのスタートです。

◆NTTグループ東北だより

◎スポーツクラブ後援会情報

日頃よりNTTグループ東北スポーツクラブ後援会の活動にご理解とご協力を頂き、「東北マックス（ベースボール・バドミントン）」に対し物心両面でのご支援、ならびにご声援を賜り、誠にありがとうございます。

昨年度もOB・OGの皆様にも会員募集のご

案内をさせていただき
ましたところ、多くの
皆様にご賛同をいただ
きました。厚く御礼を
申し上げます。

今シーズンはベース
ボールクラブが5名、



クラブ野球選手権 初戦勝利！

バドミントンチームは2名の新人選手を迎え、皆様のご期待に応えるべく日々鍛錬を重ねております。是非、試合会場やグラウンドに足を運んでいただき、ご声援をいただければ選手
の励みとなりますので、よろしくお願いいたします。
さて、各クラブの近況ですが、ベースボールクラブは、5月に都市対抗野球予選が、6月にはクラブ野球選手権予選が始まりますが、代表権獲得に向けて日々練習に励んでおります。
また、バドミントンチームは昨年度のS/Jリーグでは、最終成績は10チーム中「第7位」の成績となりました。皆様のご声援まことにありがとうございます。今シーズンは「第5位以内」を目標に頑張つてまいりますので、引き続きのご支援・ご声援を賜りますようお願いいたします。
(スポーツクラブ後援会 事務局長)

◎仙台・青葉まつりへの参加

NTT東日本宮城グループは、5月18日、20日に開催された「第35回仙台・青葉まつり」に参加しました。宵まつり、本まつりとも天



S/Jリーグ仙台大会 勝利！



東二番丁通りにて



すずめ踊りの決めポーズ

候に恵まれ、総勢200名のすずめ踊りやお囃子、山鉦引き手には、OB・OGの方も参加して頂き、令和元年の節目の年に杜の都は熱く盛りあがりました。



中村事業部長とともに
参加された皆さん

— 忘れない。忘れてはいけない —

震災コーナー



◎その日、私は・・・



石巻電友会 齋藤 勇

一瞬なぜ、こんな時間に大型トラックが集団走行してるんだろうと思う程の凄い爆音が聞こえ、自宅から南側の県道（奥松島・松島公園線）の方向を見つめました、何も見えず訳が分かりません。

間もなく知り合いの人が、「東名運河南側の住宅地がもの凄い津波で流されている。自宅も流されてしまった。」と興奮した表情で教えてくれました。

約1時間前の午後2時46分に太平洋沿岸で発生した大地震による大津波が、自宅付近（東松島市野蒜地区、海拔1m～2m程）にも押し寄せて来たんだと、やっと理解出来ました。先程の地響きのような凄い音は、押し寄せた

大津波で多くの住宅が倒壊し松島湾に流されて行く音だったのです。

地震後、地域はすぐに停電、携帯ラジオで岩手県や宮城県北部沿岸部に大津波が押し寄せているとの状況は聞いていましたが、「まさか牡鹿半島の反対側には、大津波が来る筈



震災直後の「JR仙石線 東名駅」
撮影日 平成 23 年 5 月 4 日

が無いだろう」と甘い推測をしてのんびりしていました。

慌てて私の家に避難してた親戚と、妻を車に乗せて宅地より2m程高い県道に上がり松島方面に逃げようとしたのですが、既にどす黒い第一波が50cm程の高さで道路に押し寄せて来てました。やむを得ず浸水していない自宅奥の山際に戻り、地区避難場所に向かおうとしましたが、すぐに2m程の津波に浸かってしまいました。地形から松島湾に押し流される心配はありませんでしたが、流れてきた浮遊物につかまり、すっぱりと頭までつかったりして横なぐりの雪を見た時は、「甘すぎる判断をしてしまい、この後自分達はどうなってしまうのだろう」と。幸いケガもせず低体温症にもならず、命拾いをしましたが恐怖の時間を過ごしました。後日、もう10分も早く避難していれば、自宅は浸水したもの無事だった2階に避難すれば、寒い思いをしなくて済んだのに…等々、色んな思いと反省があります。

次に起こるかも知れない震災に備え、

1. 少しでも早く、少しでも高い場所に避難を。

2. 発生後、家のドアを開放して外部の情報収集へ逃げ場の確保もあります。

3. 日頃から自宅付近の地形・危険個所などの確認。

4. ラジオ等による信頼のできる情報の収集等が大事だと思いました。

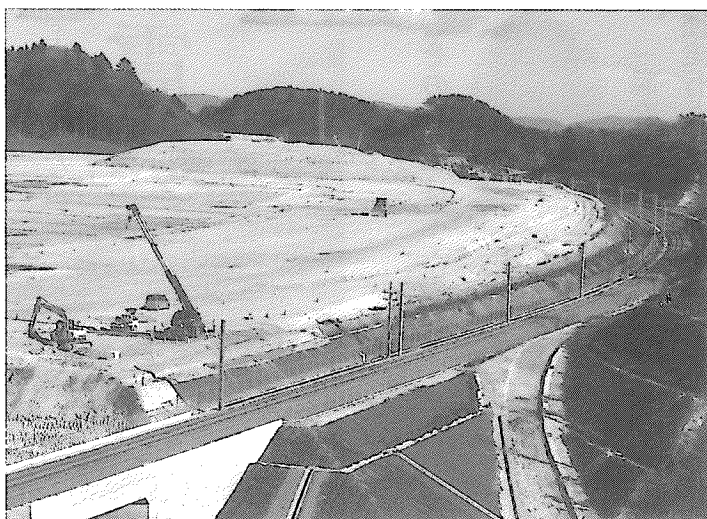
しばらくの間被災した地域の方、消防団員そして建築建設会社の若い経営者の方が連日仮設の詰所に集まり、安否情報収集や様々な支援活動を行ってくれました。私も微力ながら活動に参加しました。

私が住んでいる地区は居住可能地区になり自宅を修理し住み続けています。長い間空き地だった場所にも、数年前から被災された方

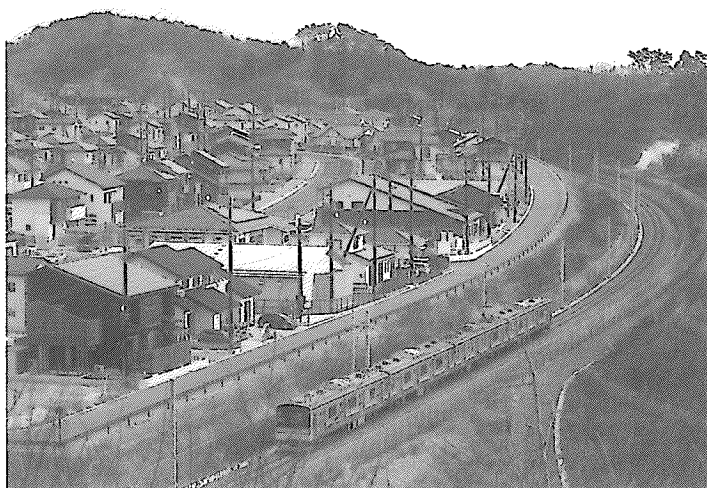
が移って来て現在200世帯を超す住民が暮らしています。

背後の丘陵を整地し標高20mの安全な高さに造成された大規模な住宅地には、被災した方が災害公営住宅入居も含め400世帯以上移転して来ましたが、完成まで6年も経過したこともあり、野蒜地域の人口はかなり減少しました。それでも震災後に開校した「宮野森小学校」は全国に自慢できる木造校舎として完成、JR仙石線はルートを高台に移転、2つの駅も出来あがり、安全で快適に暮らせる街になっています。

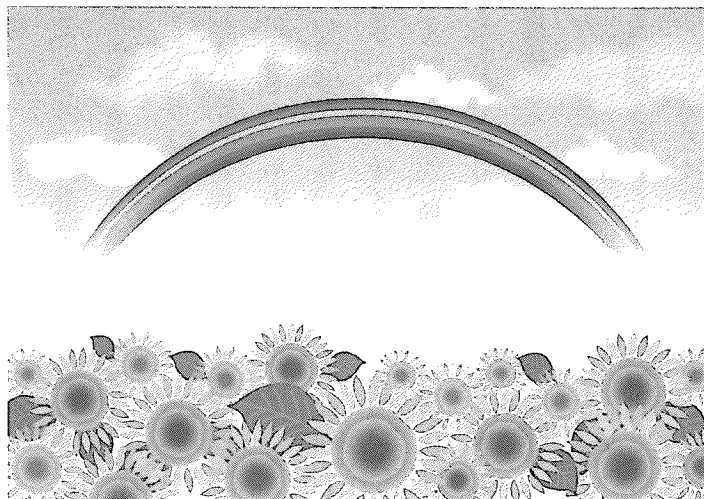
私たちの地域は大津波により甚大な被害を受けましたが、全国の多くの皆さん、会社関係の皆さんに心温まる支援物資や義援金など大変なご支援をいただきました。復興を見届けるまでと、引き続き支援を継続してくれる団体もあります。改めてお礼申し上げます。



造成中の高台宅地
撮影日 平成 26 年 12 月 15 日



完成した高台宅地とJR仙石線
撮影日 平成 31 年 1 月 15 日



賛助会員企業様コーナー

「賛助会員企業様コーナー」は賛助会員企業様の会員から、ご自分の会社の紹介や余暇の過ごし方等を寄稿していただくコーナーです。今回は(株)第一ヒューテック東北支店様、(株)ドコモCS東北様、(株)NTTデータ東北様です。



株式会社 第一ヒューテック

東北支店

佐々木 直利

週末はゴルフ練習や道の駅・
農産物販売所を回っています。

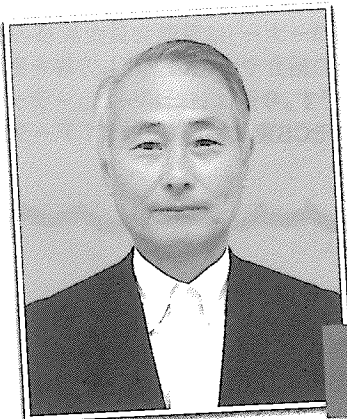
株式会社第一ヒューテック東北支店の佐々木直利です。NTTグループ並びにOBの皆様には日頃から弊社事業にご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

弊社は、昭和24年に(株)第一建築として設立され、今年70周年を迎えることが出来ました。設立当初のモットーである「良い建物を、早く、安く、安全に」を社員一人ひとりが胸に刻み、堅実に発展してまいりました。その後、平成14年に(株)第一ヒューテックと社名を変更いたしました。これは、弊社が設立時のモットーを大切にしつつ人と環境を大切に、優れた技術力・創造力を持った建設企業を目指すことを表現したものであります。ちなみに東北支店は、昭和51年に仙台営業所として開設され、平成3年に東北支店に改称されています。また、設立当初より弊社は、戦後の電気通信事業の復旧に当たってきました。電気通信関連建築工事は、大変精密な機械を収容する建物を新増築・改修する工事であり、繊細な注意力と高度な技術力、及び技術に裏打ちされた安全性の確保が不可欠な工事であります。そこで培ってきた技術を各種の建物に応用し、今ではオフィスビル・マンション・体育施設・福祉施設・学校施設・生産施設・宗教施設等多岐にわたる建築工事を手が

けるようになりました。さらに、環境対策事業としての太陽光発電設備設置工事や自然災害に対する防災・減災のための耐震対策(耐震補強)工事・洪水(水防)対策工事など、リニール及びリノベーション工事の実績も積み上げて来ています。

さて、私事ですが、昭和48年に電電公社に入社し、NTT、NTTファシリティーズを経て、平成23年から(株)第一ヒューテックでお世話になっております。仙台市生まれですが、最初に県外へ転勤したのが、幸いにも？秋田市だったことで、地元の方々や先輩方に日本酒の飲み方をきっちり鍛えられました。おかげさまでその後も転勤したいろいろな土地でご馳走、珍味と地酒を合わせて楽しむ事が出来ました。近頃は身体に気を遣うようになり、お酒は少しにして週末はゴルフ練習に出かけたり、道の駅や農産物販売所を回って地元の名産品(主につまみになるもの)を探したりしています。

今後も、今までのご厚情とご期待に応えるとともに、弊社の技術を生かして、社会に貢献してまいりますので、引き続きのご指導ご支援をよろしくお願いいたします。



株式会社 ドコモCS東北

二瓶 秋男

私の関心ごとは
2020年のNHK朝ドラ...

ドコモCS東北の二瓶秋男です。

日頃よりNTTグループ並びにOBの皆様にご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

私は現在、仙台駅近くにありますドコモ仙台ビルを拠点としているドコモCS東北フロント支援部に所属しており、ドコモをご利用いただくお客様一人ひとりにご満足頂く為に、様々なセンターが一丸となって業務に取り組んでおります。

センター毎の業務としては「インフォメーションセンター」ではお客さまからの総合窓口としての各種問い合わせ対応。「東北AIC」ではお客さまからのスマートフォン等の機器操作に関する問い合わせ対応。「ネットトータルサポートセンター」では通信につながる機器の困りごとのサポート対応。「代理店サポートセンター」「テクニカルサポートセンター」「研修センター」では、ドコモショップからの問い合わせ、研修・育成等の業務を行っており、ドコモをご利用頂くお客さまへ最前線での対応やドコモショップへのサポートを実施しております。

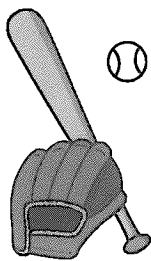
今年度は「変化にスピーディに対応し」進化し続ける「応対品質」でお客さまへ安心と感動をお届けします。『をスローガンに掲げ、新料金プランや5Gサービスの開始、会員基盤の拡大やd払

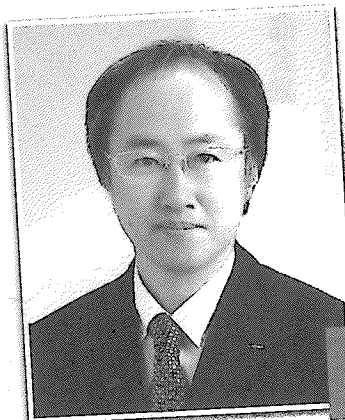
い等のキャッシュレス決済の促進、更には10月に予定されている楽天参入など事業環境が大きく変動していきますが、各センター一丸となって、お客様に安心してドコモをご利用して頂けるよう取り組んで参ります。

最後に、最近の私の関心ごとは、朝ドラ誘致の署名活動にも協力したこともあり、母校の先輩が、2020年NHK朝ドラに決定したことです。

その先輩とは夏の甲子園大会で耳にする「栄冠は君に輝く」や、「オリンピッククマーチ」「六甲おろし」「闘魂こめて」「モスラ」などの数々の名曲を手掛けた福島市出身の作曲家・古関裕而さんです。

2020年は東京オリンピック・パラリンピックが開催される年でもあり、福島市でも野球/ソフトボールが開催されます。2011年の東日本大震災からもうすぐ10年目となり、被災地復興を盛り上げる効果となればと期待しております。皆様におかれましては東北全体で盛り上げていただければ幸いです。





株式会社 NTTデータ東北

榎部 昌弘

各地の旬の食材やお酒、
お祭りと温泉を楽しんでいます。

株式会社NTTデータ東北代表取締役の榎部です。東北電友会の皆様には、平素より弊社事業にご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

おかげ様で、NTTデータグループは昨年創立30周年を迎えることができました。この間環境やお客様ニーズの変化に対応しながら自己変革を続け、絶えることなく増収し続けています。特にこの10年間はグローバルマーケットでの拡大に力を入れており、今では50か国を超えて、9万人のノン ज्याパニーズの仲間たちが活躍しており、その売上高比率は全体の半分以上を占めるレベルへと近づいています。

私たちNTTデータ東北は、NTTデータが国内九地域に持っている地域会社の一つであり、東北6県をホームグラウンドとして、地域の公共・金融・法人のお客様にITサービスをご提供しています。また、当社が得意としているソリューションについては、全国区でサービス提供しており、実際私たちのお客様は、北海道から沖縄まで全国にわたります。

最近では、あらゆる機器がインターネットにつながることで、電子決済や自動運転、あるいは仮想現実といった、少し前まではSF小説の中の出来事だったものが、私たちの日常生活に入り込みつつあります。このような流れの中、弊社のビジネスも業務効率化のためのシステム構築から、IT

を活用しながらお客様の新たなサービスやビジネスを産み出すお手伝いをする「デジタル」案件へと比重が移りつつあります。

日本の構造的課題といわれている少子化・高齢化は、特に東北地域では大きな問題です。だからこそ、ITの力で人手不足等地域の問題を解決することで、弊社が地域貢献できる余地は大きいと考えています。実際弊社では、従来人間が実施していた非定型な事務作業を、人口知能やソフトウェアロボットで代替していくサービスを様々な業界のお客様向けに提供しており、お客様自身により高度で付加価値の高い業務へシフトするためのお手伝いをしています。

私自身は大学4年間を仙台で過ごした後、新入社員時代にも3年間仙台で勤務した経験があります。今回の勤務も3年目を終えようとしているので、仙台生活はトータル10年になります。まさに第2の故郷です。東北6県のお客様を訪問しながら、各地の旬の食材やお酒、そしてお祭りや温泉を楽しんでいます。

本年から、NTTデータグループは新中期経営計画をスタートさせます。ITの力でより豊かで調和のとれた社会の実現に向けて、グループ一丸となって取り組みますので、引き続きよろしくお願いたします。

東北地方本部だより

東北地方本部事務局

◎電友会幹部会議

31年2月21日、東京西新宿「オペラシティビル」において開催。2019年度事業計画、就業規則の改正、会員確保に向けた「検討委員会」での検討状況等について意見交換が行われました。

◎全国事務局長会議

31年2月22日、「品川ツインズビル」において開催。定期報告の見直し、女性の会の実施報告及び今後の進め方等について意見交換を行いました。

◎第2回支部長・事務局長会議

31年3月7日、NTT五橋ビルで開催。31年度事業計画、ボランティア活動賞の推薦、本部幹部会議模様等に



支部長・事務局長会議

◎定例地方理事会

31年4月22日、NTT五橋ビルで開催。各理事（支部長）出席のもと令和元年度地方評議員会議案書審議、地方本部長表彰の推薦等を行ないました。

ついて審議・報告が行なわれました。



定例地方理事会

◎東北地方本部評議員会の開催

令和元年5月21日、ホテルメトロポリタン仙台において開催。ご来賓にはNTT東日本取締役宮城事業部長中村浩様を始め東北各支店長ほか幹部の皆様、及び賛助会員企業（NTTグループ各社）の幹部の皆様をお迎えし、また、電友会本部からは山田副会長にご出席をいただきました。

会議では、30年度事業報告並びに元年度事業計画、役員改選等について審議し全て原案通り可決承認されました。

会議終了後、地方本部長表彰として、支部・



ご来賓の電友会本部副会長 山田隆持様



東北地方本部 奥野本部長



評議員会模様



ご来賓のNTT 東日本取締役 宮城事業部長 中村浩様

地区役員を長年務め退任された7名の方、ボランティア活動に長年取り組んできた3名の方に感謝状が贈呈されました。



地方本部長表彰
受賞の方々

◎震災復興支援ボランティア活動への参加

(1) 気仙沼大島震災復興支援活動への参加

令和元年5月11日、NTT（持株）CSR

推進室、NTTファシ

リテーズエンジニア

リング主催の「緑の真

珠海岸林再生プロジェ

クト活動」に小野寺前

本部長始め宮城支部13

名（五ッ橋6、石巻3、



下草刈の様子



気仙沼大島震災復興支援活動へ
参加された皆さん

気仙沼4）、岩手支部（一関5名）の計18名が参加。7年前に植樹した苗木の成長管理として今年も下草刈を行ってきました。ここ1、2年で樹木は頼もしく育ち、これまでの努力が形になってきたことに満足し、この春開通した気仙沼大橋をあとにしました。

(2) 東松島市海岸防災林再生活動への参加

令和元年6月15日、

NTT東日本宮城事業部主催で「NTT東日



この道具を使って下草刈をします！

本みやぎの森」プロジェクトとして4年前から実施している同市矢本地区、浜市地区の植樹後の成長管理（下草刈）活動へ参加。奥野本部長始め五ッ橋クラブ（5名）、石巻電友会（6名）の会員計11名が現役とともに奮闘しました。



東松島市海岸防災林再生活動へ
参加された皆さん

電友会では引き続き「チームNTT」として震災復興支援のボランティア活動に積極的に参加してまいります。会員の皆様の更なるご参加をお願いします。

◎叙勲のご紹介

謹んでお祝い申し上げますと共に、益々のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

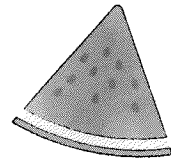
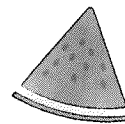
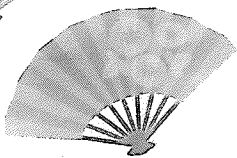
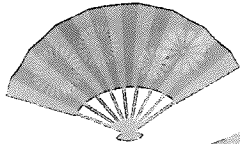
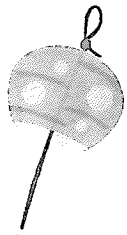
高齡者叙勲

瑞宝双光章 福島支部 加藤 良榮様
瑞宝双光章 宮城支部 工藤 光男様

(平成30年12月～令和元年6月まで)

◎「都市鉱山からつくる!みんなのメダルプロジェクト」の受付終了について

2020東京オリンピック・パラリンピックへの支援として、(株)NTTドコモが参画する「都市鉱山からつくる!みんなのメダルプロジェクト」に電友会もチームNTTとして協力することとし、使用済み携帯電話の回収に取り組んできました。お陰様で必要な回収量の目処がついたとの事で、2019年3月末をもって終了となりました。(株)NTTドコモからのご丁寧な御礼がありました。皆様のご協力に感謝申し上げます。



スピーディに、誠意を持って

企画 | 総合印刷 | グラフィックデザイン | コンテンツデザイン

株式会社 仙台紙工印刷

〒983-0036 仙台市宮城野区苦竹3丁目1-14 TEL.022(231)2245(代) FAX.022(231)2247

URL◎<http://www.sendai-shiko.jp/> E-mail◎info@sendai-shiko.jp

高品質・安全をお客様へ—(株)仙台紙工印刷は下記の認証を取得しています



印刷機械のメンテナンスと数値管理等によって、安定した品質の印刷物を作成できる工程管理能力を認められました。



法規への適合と、自主的に高いレベルの個人情報保護マネジメントシステムを確立し、運用していることを認められました。